

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科目名	体表解剖学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室
担当教員	可成 孝多	実務経験と その関連資格	理学療法士として臨床現場にて多岐にわたる疾患や障害に対して、触診技術を基に理学療法を実施していた			
《授業科目における学習内容》						
理学療法士は、患者を直接触診して評価し治療を行う能力が必要である。解剖学や運動学で学んだ体の立体的(三次元的)構造の位置や動きを知り、触診できなければ、評価や治療はできない。そこで皮膚を通して内部組織を視察・触診する技術を身につけることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢/下肢・体幹 改定第2版 メジカルビュー社 プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 第3版(2017.1刊) 医学書院						
《授業外における学習方法》						
テキストを参考に、自分の身体を用いて可能な範囲で触診の復習をする。または、学生同士で触診を行うことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
理学療法を実施する上で、非常に重要な分野です。日ごろより自分の体を使って勉強してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	① 体表解剖学の基礎的知識および技術を身に付けている	指定テキスト		事前学習(20分) シラバスを読む 事後学習(40分) 触診の基本について復習
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、運動の方向、触診方法について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	① 体表解剖学の基礎的知識および技術を身に付けている	指定テキスト		事前学習(30分) 基礎解剖の予習 事後学習(30分) 基礎解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	全身の骨を知る			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト		事前学習(30分) 解剖の予習(肩甲骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	(上肢骨)肩甲骨について触診できる			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト		事前学習(30分) 解剖の予習(鎖骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	肩甲骨について触診できる、鎖骨について触診できる			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト		事前学習(30分) 解剖の予習(上腕骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	上腕骨について触診できる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(前腕骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	前腕骨(橈骨・尺骨)について触診できる		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(手根骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	手根骨及び手指骨について触診できる		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(脊柱) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	脊柱について触診できる		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(脊柱) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	脊柱について触診できる		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(脊柱) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	脊柱について触診できる		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(骨盤) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	骨盤について触診できる		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(大腿骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	大腿骨について触診できる		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(下腿骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	下腿骨(脛骨、腓骨)について触診できる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	② 触診可能な骨指標に正しく触れることができる	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(足根骨) 事後学習(30分) 実技の復習
		各コマにおける授業予定	足根骨及び趾骨について触診できる		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	①.②について振り返り、理解と説明ができる	指定テキスト	事前学習(30分) 全コマの予習 事後学習(30分) 全コマの復習
		各コマにおける授業予定	まとめ 振り返り		